

智頭町 森林組合だより

平成26年12月 No.16



もくじ ☆☆☆☆ CONTENTS

1. 森林体験ツアー	(1)
2. 役員先進地研修について	(2)
3. 予算要望について	(3)
4. 智頭中学校の改築	(4)
5. 杉神社還暦大祭	(4)
6. 森林組合の活動	(5)
7. 地区座談会の開催	(6)
8. 健康づくり宣言事務所	(6)
9. 搬出間伐の事例	(7)
10. オーストリア視察報告	(8)
11. 加工センターから (施設整備計画)	(9)
12. 原木市況	(9)
13. 県・町と森林組合意見交換会	(10)
14. 理事会開催報告	(10)

☎689-1402 智頭町森林組合
鳥取県八頭郡智頭町大字智頭 2081 番地 4
TEL(0858)75-0075(代) FAX(0858)75-1192
木材加工センター
TEL(0858)75-0104

智頭杉の森見学ツアー開催！！

県内外から家族連れなど15名参加があり、11月8日(土)第1回智頭杉の森見学ツアーを開催しました。

智頭杉の良さを感じてもらい、利用拡大を図る「智頭杉でマイホームを!!」プロジェクトの一環として企画しました。

ツアーの内容は木の育成～製材～住宅になるまでの一連の現場を見学していただきました。

森林見学では組合と協定を結んだ2箇所の森林を見学していただき、普段山の中に入って木を見ることがないようで、めずらしそうに見ておられました。

森林組合の木材加工センターの見学では、組合で加工できる製品や、製材機械を近くで見えていただいたりしました。

智頭杉をふんだんに使っている新築住宅見学では、実際に家の中に入って木の良さ、ぬくもりを感じていただけたと思います。

参加者からは、「木のこと、林業のこと等色々勉強になった」、「関西圏でもPRしたい」など満足していただいたご意見を頂きました。

これからも、春秋年2回開催する予定です。



智頭杉の山林を見学する参加者



何年生かな



木材加工センターにて智頭杉の製品の特長を説明を受ける



智頭杉を使ったK氏邸を見学する参加者

真庭地方で推進員研修会の開催

平成26年9月4日、津山・勝山で2年ぶりに推進員研修会を開催しました。当日の参加者は推進員、役員等44名の参加を得て、一日行程の研修でした。今年度から3カ年間、森林組合の運営にご協力いただく推進員の皆様には、非常に忙しい中、参加いただきました。

まず、町内の搬出間伐の現場では、間伐率や間伐材の市場価格に関心を持って質問されていました。森林組合では、近年、導入したプロセッサ、フォワーダ等の高性能林業機械が稼働している状況を見ていただきたかったのですが、大型バスが林内に入れないことから、やむなく間伐後の林内とさせていただきました。

2カ所目の視察は、原木や製品市の津山総合木材市場です。製品の市では、当日、特市があり、智頭の業者さんの姿も見え、多くの買方でにぎわっていました。なお、市場には、智頭町森林組合の製材品も出荷しております。

メインの3カ所目の視察先は、木質バイオマス利用で全国的に脚光浴びている真庭市役所庁舎(木材利用施設)です。市の担当者の視察慣れしたポイントを押さえた説明に一同大変興味深く研修しました。庁舎の冷暖房の熱源としてのチップ、ペレットの生産、施設への供給手法について、大いに興味を持って視察しました。

庁舎前に新設のCLT（直行集成材:真庭市のメイケン工業等が開発中でこれからの大型木造建築に多用される見込み）使用の駐車場も設置されていました。

今回は、参加者が視察先で活発に質問されるなど、非常に充実した研修でした。現地でのこのような推進員研修会を2年に1回開催し、交流を深めるとともに、森林、林業、森林組合事業へ理解を深めていただけたら有り難いと思います。



津山総合木材市場



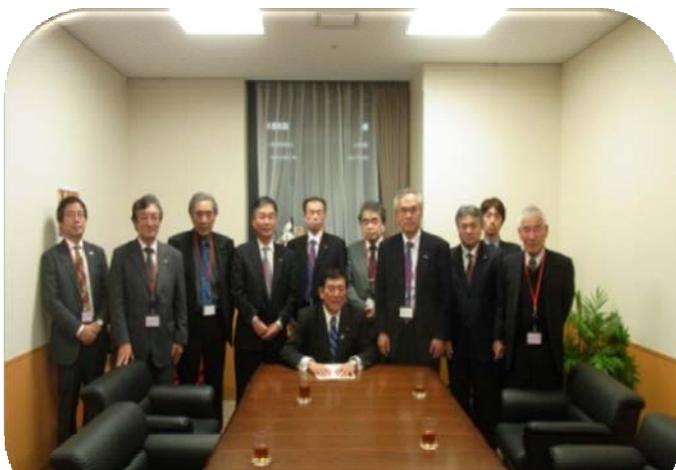
真庭市庁バイオマス設備

予算等の要望活動

去る11月12日、県内森林組合長が県選出国會議員に東京で27年度予算等に関する要望を行いました。

石破地方創生担当大臣と赤沢内閣府副大臣には、内閣府の大臣室等で、舞立参議院議員には議員会館で実施。マスコミ報道で衆議院の解散風が吹き荒れるタイミングでありましたが、時間を作り熱心に聞いていただきました。

- ① 地方創生担当相が新設される中で、山間部の林業を成長産業と位置付け、鳥取県を山間部モデル地として指定し、様々な事業展開が可能となる支援措置と予算の確保
- ② 緑プロ事業の延長、路網整備の推進
- ③ 国産材の利用拡大

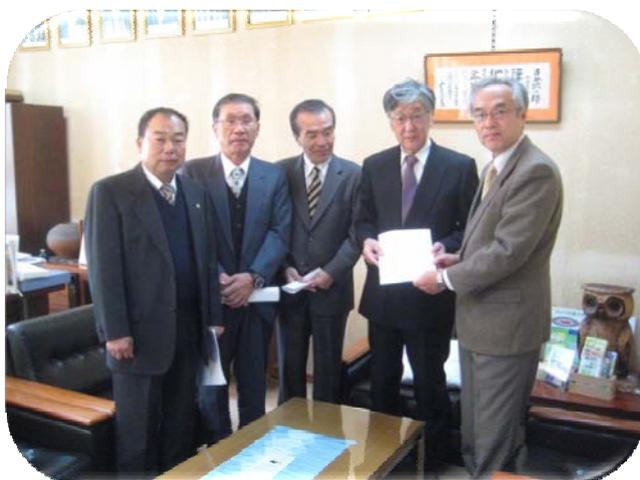


町には11月21日、寺谷町長、谷口議長に、寺坂組合長、古谷総務委員長、河村事業委員長、綾木加工委員長が27年度林業予算について要望しました。

主な内容は

- ① 間伐等森林整備の加速化
- ② 地籍調査の推進
- ③ 「智頭杉でマイホームを！！」プロジェクトの推進

なお、県には10月24日、岸田農林水産部長、垣田森林・林業局長に対し、間伐材搬出促進事業の継続、林内路網の整備、県産材の利用拡大等について意見交換し、近々、平井知事に要望することとしております。



智頭中学校改築第一期完成校舎見学会開催

木材製品を納めた森林組合、製材関係者が完成した第一期の校舎を10月3日見学しました。長石教育長より、完成状況の説明を受けたあと校舎内の案内を受けました。

智頭材をふんだんに使用した各教室、智頭杉優良丸太大径木を見事に活かしたホールなど、木の香りと、癒しを与える素晴らしい校舎と一同絶賛されました。

第二期工事も完成に向け順調に進み来年4月から次世代校舎で、元気な生徒の声を期待します。また、智頭町にとってもこの校舎が智頭林業の歴史学習の場になるとともに智頭材のモデル建物としてPR出来ると思います。



杉神社鎮座 60 周年記念大祭盛大に開催

杉神社が滝谷に鎮座されて今年60年になり、智頭町制100周年記念と合わせて60周年記念大祭を9月27日に執り行いました。

当日は、晴天に恵まれ多数の参拝者のなか、おごそかに杉のご神体へ神事を滞りなく納めました。神事のあと、奉納催しとして杉踊りを7年ぶりに境内を華やかに踊りました。

また、町内の還暦を迎えられた方の還暦歳賀も合わせて行いました。

続いて、町内をロードとした全国民泊マラソンに参加される方の安全祈願をしめやかに実施しました。全国に類のない神社での祈願に大変喜ばれました。

「杉の町」智頭町にふさわしい催しと、林業の歴史に触れ今後の活性化を望む一日でした。



森林組合の活動

森林境界の明確化事業

本年度は、三田観音寺本谷東平区域と西野本谷東平区域の2団地(156ha 予定)の実施となります。来年度は、170ha の実施を計画しています。

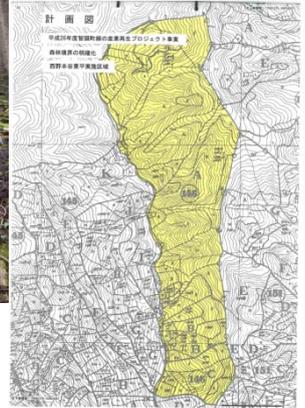
「関係者の方と境界の確認作業の様子」



三田地内



中原地内

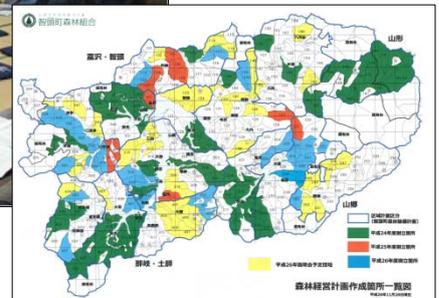


森林経営計画事業

森林経営計画については、本年度 25 団地の樹立を計画しています。森林所有者の方には、地区説明会等によりご理解とご協力をお願いしているところです。間伐及び路網整備の推進にあたっては、引続き宜しくお願い致します。



「郷原団地説明会の様子」



【推進状況図】

- ・森林経営委託契約をすることによってデメリットはあるのか？
- ・分け山の境界がよくわからない。
- ・実際に施行するときには何割ぐらいの間伐をするのか？などご意見をいただきました。

共生の森事業



「ごうぎん希望の森」10月11日実施



下刈作業



「JTの森 智頭」5月31日実施



間伐作業

地区座談会のご案内

恒例の地区座談会を次の日程で開催します。

当日は、森林組合の業務状況、新年度の取組、県・町の林業施策等の説明及び意見交換をさせていただきます。

お誘いの上、多くの組合員の参加をお待ちしております。

(なお、参加の方には粗品を準備致します。)

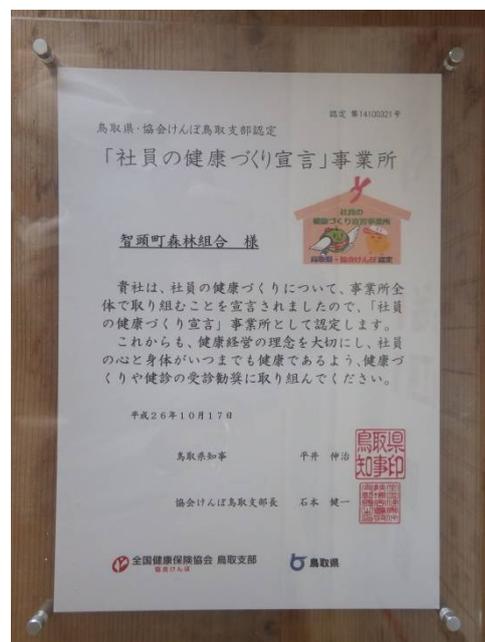
日 時	地区	会 場
平成27年2月4日(水) 9:30～	富沢	富沢公民館
平成27年2月4日(水) 13:30	智頭	産業会館2F
平成27年2月5日(木) 9:30	山郷	山郷公民館
平成27年2月5日(木) 13:30	那岐	那岐公民館(旧那岐小学校)
平成27年2月6日(金) 9:30	土師	土師公民館(旧土師小学校)
平成27年2月6日(金) 13:30	山形	山形公民館

健康保険委員より

10月31日、「社員の健康づくり宣言事務所」として全国健康保険協会(協会けんぽ)鳥取支部より認定証の交付を受けました。

今回の認定を契機に従業員の健康づくりについて、これまで以上に積極的に取り組むことに致します。

同業種に比べ喫煙率が高い傾向にありますので、重点項目として喫煙率の2割削減を目標に喫煙本数の減少を推進していきます。



森林組合が実施した間伐施行地

実例 1 富沢地区 施行地概要

面積	4.99ha	団地全体面積	14.51ha
出荷材積	212.320m ³	団地全体出荷材積	492.758m ³
樹種	スギ・ヒノキ	伐採率	30%
林齢	50・55	施業履歴	平成25年度間伐

収支計算書

区分	内 訳	金額(円)	備 考
支出	作業道開設 伐採・搬出・運送	3,389,099	平均売上単価 6,502円
収入	間伐補助金	1,799,501	
	搬出補助金	952,105	
	立木売上	1,380,613	
	計	4,132,219	
精算額		743,120	
経費単価	1m ³ 当り	15,962	
精算単価	1m ³ 当り	3,500	



実例 2 土師地区 施行地概要

面積	9.67ha	団地全体面積	13.68ha
出荷材積	274.020m ³	団地全体出荷材積	536.525m ³
樹種	スギ・ヒノキ	伐採率	30%
林齢	35～58	施業履歴	平成25年度間伐

収支計算書

区分	内 訳	金額(円)	備 考
支出	作業道開設 伐採・搬出・運送	4,569,121	平均売上単価 7,200円
収入	間伐補助金	2,547,398	
	搬出補助金	1,035,025	
	立木売上	1,973,170	
	計	5,555,593	
精算額		986,472	
経費単価	1m ³ 当り	16,674	
精算単価	1m ³ 当り	3,600	



作業完了



作業中の様子

海外林業先進地オーストリア研修報告

日時：平成26年9月3日（水）～9月12日（金）10日間

場所：オーストリア共和国（ウィーン・クラゲンフルトの2都市）

報告者：大谷加工センター所長

これからの木材産業の活性化に向けて、世界でも有数の林業先進国であるオーストリアのクラゲンフルト市で開催の林業メッセ展示会で、最新の大型高性能林業機械の見学と森林現場でのタワーヤーダー・ラジキャレージによる集材研修に参加しました。

また、大規模 CLT（直交集成材）製材会社の工場を視察しました。

オーストリアの国土面積は約8万4000k㎡で北海道の面積に相当し、森林面積は約4万k㎡で国土の48%（日本国は67%）を占めます。森林の機能区分別では、82%が経済林・13%が保護林となり所有者別森林面積で民有林が82%、国・公有林が18%なります。林業家の所有森林別の面積統計では、5ha未満が16%、5～50haが70%、50ha以上が14%で、毎年の伐採量は成長量の85%程度ということでした。

木材及び木材加工製品（紙、パルプ、木工品、建設、エネルギー）の貿易収支は黒字で、観光業と共に国際収支に貢献しています。

オーストリアにおける木材の生産量は、過去10年間に48%増加していますが、木質バイオマス（木質チップ、木質ペレット、薪、ブリケット等）に限っての生産量は98%と大幅に増加しています。



林業メッセでの最新の大型高性能林業機械



在オーストリア日本国大使館
竹歳誠大使（右から2人目）を表敬訪問（中央が大谷）



グラップル装備でのラジキャレージ
による集材



大規模 CLT 工場（丸太集積）



CLT 材

今回の研修で見た大型高性能林業機械が、すぐには智頭林業に導入できないと思いますが、我が智頭町の93%を占める森林でも、景観維持及び保健休養機能並び地域振興に参考にして行きたいと思っております。

県・町・森林組合の意見交換会の開催

平成26年6月19日に鳥取県・智頭町・智頭町森林組合の意見交換会を開催しました。

県からは永原東部農林事務所八頭事務所長、地原農林業振興課長をはじめ、幹部職員7名、町は上月山村再生課長、安藤地域整備課長、草刈地籍調査課長等、森林組合業務と関係の深い3課から7名、森林組合は寺坂組合長他8名で熱心に議論し更なる連携が必要との共通認識を確認しました。

主な内容は

- 間伐材を中心とする素材生産の安定供給について
 - ・間伐の推進（搬出支援制度の今後の見通し）
 - ・従前の間伐率と面積当たり搬出材積が多いほど補助金が高率の実態との調整
- 路網整備の推進について
 - ・林道予算が緊迫してる。町が予算要望を適切に行う
 - ・緑プロ事業が今年度限りなので、早期完成を図る
- 森林経営計画の策定について
 - ・今年度の計画樹立団地と樹立済みの事業実施
 - ・関係機関の協力体制
- 木材の利用について
 - ・木質バイオマス発電のためのチップ材
 - ・町産材の販売促進



理事会開催報告

第3回理事会 平成26年7月16日

{協議事項}

- ① 推進員研修会について
- ② 役員賠償責任について
- ③ 夏季手当の支給について

第4回理事会 平成26年10月17日

{協議事項}

- ① 平成26年度上半期の仮決算について
- ② 平成26年度下半期の計画について
- ③ 平成27年度林業予算(要望)について



編集後記

早いもので今年のカレンダーも、残すところ一ヶ月となりました。今回は、初めての試みで智頭杉の森見学ツアーや杉神社鎮座60周年記念大祭など開催しました。また、智頭中学校も1期工事が完成し、2期工事も真っ最中です。なお引き続き、智頭杉の普及に努めていきたいと思っております。今後も組合員の皆様のご意見、ご要望をお寄せいただき役職員一同、組合運営に尚一層努めて参ります。今年1年有難うございました。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

「編集長」

加工センターから(施設整備計画)

加工センターでは、昨年度より中学校の改築工事があり今年度第2期工事の納材がほぼ完了しました。

また、今年度10月に新しく四面自動かん盤を入替し、11月には、乾燥機を1基増設しました。現在は、構造材、内装材等の注文生産を行っている所です。12月には、3棟の建前材料を注文があり、建前に向けて準備を進めている状況です。

今年度、機械整備を充実したので、今後も良品質の製品を納材して行きたいと思っています。



新しく導入した乾燥機 (3号機)



四面自動かん盤

原木市況

平成26年10月20日 石谷林業(株)で、「第46回記念市」を開催。

取扱材積2,105m³で出荷材としては、一般材、杉、桧の大径木の出材もあり買方も多数でした。

13万円、70万円の高値材もありましたが、一般材では、前回市に比べ桧材は引合いが少なく、杉材は、合板価格が現在安定しているので桧材に比べると引合いがありました。

今後、合板、バイオマス等の需要拡大が期待されますが、合板材の価格により、製材用原木に大きな変動がある状況です。

また、冬に向けて材価格の上昇を期待したいです。

